

## これだけは覚えよう！重要ポイント

料金

$y = ax + b$

基本料金

 $b$  (切片)

従量料金

 $a$  (傾き)

Q. 料金プランで1次関数をどう使う？ 料金 = 基本料金 + 単価 × 使用量。1次関数で表せる。

## ① 式を立てる

手順1

料金  $y$  = 基本料金  $b$  + 単価  $a$  × 使用量  $x$ 。

$$y = 30x + 1000$$

## ② 傾きの意味

読解

傾きは単位あたりの料金 (1kWh、1分など)。

$$a = 30 \Rightarrow 1\text{分}30\text{円}$$

## ③ 切片の意味

読解

切片は使用量0でもかかる基本料金。

$$b = 1000 \Rightarrow \text{基本料}1000\text{円}$$

## ④ プラン比較

応用

2つのプランをグラフで比較。交点でどちらが得か変わる。

交点以下はA、以上はBが得

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 基本料金を忘れる

✖

$$y = 30x \text{ (基本料なし)}$$

○

$$y = 30x + 1000$$

基本料金がある場合は切片に入れる。

## ⚠️ 損益分岐点の読み間違い

✖

交点より右でAが得

○

交点より右でBが得 (グラフを確認)

グラフでどちらが下か確認する。

## 最終確認チェックリスト

- 料金問題を1次関数で表せるか？
- 基本料金と従量料金を理解したか？
- 2つのプランを比較できるか？